

【新刊のご案内】

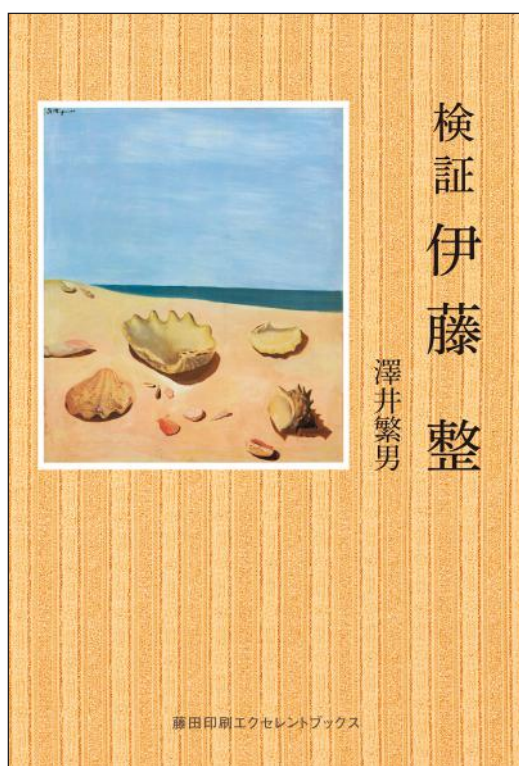
検証 伊藤 整

澤井繁男=著

伊藤 整はチャタレー裁判だけではない!!

北海道民や小樽市民は郷土が生んだ詩人にして作家・文芸批評家、伊藤 整を識りつくしたか？

此の精緻な筆の意欲作に挑戦せよ!!



目次

まえがき

第I部 戦時下の二作品

はじめに

- 1.『得能五郎の生活と意見』
- 2.『得能物語』
- 3.同時代の「評論」にみる伊藤整
(1)「私小説について」他
(2)「感動の再建」他

おわりに

第II部 敗戦後の二作品

はじめに

- 1.『鳴海仙吉』
- 2.『伊藤整氏の生活と意見』
- 3.同時代の「評論」にみる伊藤整
(1)『小説の方法』
(2)『文学入門』

おわりに

あとがき

まえがき

本書執筆の動機は、整の視座を借りることで「社会構造」と「文学」の相関関係を概略し、昨今の乱脈な政治体制を、戦前の15年戦争時に書かれた作品と敗戦後の作品で検証、反映させ、整の思考形態と時代精神に迫ってみたいと思ったからである。それゆえ一応評論だが、『～論』より『検証』に近い。

さて本論に入る前に伊藤整自身が、ここで扱う作品までの自作を分類しているので示しておく——「自作案内」(新潮社版『伊藤整全集』第14巻)。彼は三つに分けているのだが、肝心の初期の新心理主義文学に拠った実験的作品で分類が始まっていないのが奇異である。

著者略歴:澤井繁男(さわい・しげお)

1954年、札幌市生まれ。高校時代から創作をはじめ、「有島青少年文芸賞」優秀賞受賞(札幌南高等学校時代)、上京して『第19次新思潮』の同人となる(東京外国語大学時代)。小説「雪道」にて、『200号記念北方文芸賞』、『第18回北海道新聞文学賞・佳作』を同時受賞(京都大学大学院時代)。その後、『三田文学』、『新潮』、『文学界』等に小説・評論・エッセイなどを発表。東京外国語大学論文博士(学術)、専門は、イタリア・ルネサンス文学文化論。元関西大学文学部教授。小説作品に、『若きマキアヴェリ』(東京新聞)、『復帰の日』(作品社)、『鬼面・刺繍』(鳥影社)、『三つの街の七つの物語』(未知谷)等が、評論・エッセイに、『臓器移植体験者の立場から』(中央公論新社)、『腎臓放浪記』(平凡社新書)、『生の系譜』(未知谷)、『京都の時間。京都の歩き方。』(淡交社)等が、イタリア関連書に、『魔術と錬金術』(ちくま学芸文庫)、『イタリア・ルネサンス』(講談社現代新書)、『ルネサンス』(岩波ジュニア新書)、『評伝 カンパネッラ』(人文書院)、『自然魔術師たちの饗宴』(春秋社)、『カンパネッラの企て』(新曜社)等が、翻訳書に、E.ガレン『ルネサンス文化史』(平凡社ライブラリー)、W.J.パウズマ『ルネサンスの秋』(みすず書房)、ファーガソン他『ルネサンス—六つの論考』(国文社)、カンパネッラ『哲学詩集』(水声社、2020年度日本翻訳家協会・翻訳特別賞受賞)等がある。

書名:検証 伊藤 整

著者:澤井繁男

判型:四六判

頁数:256頁

発売日:2021年3月28日

定価2,000円+税

発行:藤田印刷エクセレントブックス

ISBN: 978-4-86538-117-7

発行:藤田印刷エクセレントブックス 〒085-0042 釧路市若草町3番1号

TEL0154-22-4165 FAX0154-22-2546

ご注文はJRCへ FAX03-3294-2177まで